

# 会 報

東北大学教育学部同窓会仙台支部

## 「さつき」との出会い

副支部長 佐藤 健仁

今年も庭や鉢の中でさつきが思い思いの花芸を競い誇らしげに咲いた。私の大好きな晃山の花が良作で、短い期間ではあるが楽しませてくれた。晃山系統の花は五弁の小型で端正な花卉をしており、色も「トキ色」が主で華やかではないが落ち着いた雰囲気のあるさつきである。中には「日光」のように花芸豊かな艶やかな花もあるがこの系統では稀である。また、小型で端正な五弁のさつきでも古花の松波や新花の松鏡などは花芸が豊かで、一株からこんなにも色々の花が咲くものだと感心する。この松波が私をこの道に誘ってくれることになり、今も美しい花を楽しませてくれている。

さつきとの出会いは凡そ三十年前のことである。学校には色々の売り子さんがやって来る。思いつくまでも、金物売り、海産物売り、時計や万年筆売り、メガネ売り、ネクタイ売り、多くの人が職員室で商売をする姿が浮かんでくる。

ある時植木苗を三本おばさんから買い求めた。家内が華道を少し嗜むことを知っていたのでお土産にでもなればとの軽い気持ちで、苗木の種類もどんな花が咲くのかも確かめずに買い求めた。

次の年、あまり手入れをしなかったが、三本とも清楚な白い花を付けた。そんなある日、盆栽が得意の従兄が遊びにきて、目敏く白い花に注目し、一本くれと言いつつ自転車の荷台に載せ持ち帰ってしまった。本当に植物が好きなのだと納得したものだ。間もなく従兄は三鉢の鉢花を持ってきた。先程のお返しだと言う。一鉢が三鉢になったのには大変驚いた。その理由を尋ねたら、あの白花は「さつき」と言う花木で「博多白」と言い大変貴

重なものだと言う。持ってきたこの花は古花で「松波」と言う種類だとも説明してくれた。この松波は白一色と違い、白地に伊達紋り、吹掛け紋りや紅無地花等一株から幾つもの花が咲くのには大変驚いた。それ以来さつきに魅せられ、細々とはあるが今日までさつきと付き合い合ってきた。

## 第 21 回 同窓会仙台支部総会のご案内

初秋の候、同窓生各位にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、下記により仙台支部総会を開催いたします。今年度は、諸般の事情により五橋会館で開催することといたしました。

ご多用の折とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

### 記

1. 日 時 平成12年10月7日(土)  
午後3時～7時
2. 会 場 五橋会館(227-1515)  
(青葉区五橋1丁目5-3)
3. 内 容 (1)仙台支部総会 15:00～15:30  
(※14:30 受付開始)  
(2)講演会 15:45～16:45  
講師 東北大学教育学部  
新谷 守教授  
演題「視覚障害幼児における潜在  
能力の開発と補償機能の形成」  
(3)懇親会 17:00～19:00
4. 会 費 5,000円当日受付にて申し受けます。
5. 申込み 同封のはがきでお願いします。
6. 締切日 9月25日(土)取消は9月30日(土)迄

## 街づくりは人づくり

顧問 永野 昌一

しばらく前から気づいていたことだが、同窓会会員の中には町内会活動で頑張っている仲間が大勢いるということ。地域のために何等なすこともなく長い間地域に暮らしてきた私も、これまでの反省から地域のためにささやかではあるがかかわりを持つようになってから、町内会に関する情報を仕入れる上で同窓会の集まりは大変貴重な機会のように思える。住みよい街づくりを目指す町内会の仕事をわずかなひとときだが出来ることはなんと素晴らしいことか。

今、私たちの身の回りで話題となっていることは高齢者や一人暮らし家族への配慮の仕方である。「声がけ」も時にはプライバシー保護の上で快く思われないこともあり難しいということである。

また、町内会の行事への参加の仕方である。無関心層が多いように思えるし、また街づくり（地域づくり）に対してはその関心は多様で、若者たちには無縁のようである。語られる地域話題の中には地域の力で解決出来ると思われるものも多いし、また地域の共通の意見として市政の方針の中に反映させながら解決を図らなければならないようなものもある。

挙げれば際限がないが、そこでこれらの解決方策を学ぶための手近なものの一つとして、いわば手作りの「街づくり学習」を考えてみたい。

住みよさを受け身で享受するだけでなく、自ら積極的に街づくりへ参加する意欲と努力を身近な問題として考えることの大切さを思うからである。地域住民は地域のエキスパートであるからその気になれば出来ると思う。介護保険の導入は人の心の見直しに追い風を巻き起こし、地域に目を向けさせた。このようにモノから心への転換は、従来の『街づくりはモノづくり』の発想を変え、今や『街づくりは人づくり』へと動いている。人づくりは学習によって達成されると思えばなおさらのことである。

## 幼稚園寸景

理事 太陽幼稚園長 静田 一

入園式の翌日

園長が作業衣を着て土いじりをしていると、ぼんと花壇に石をほうり込んだ男の子がいます。

「あっダメです。お花がかわいそうです。」  
すると、

「オンツァン！おめえもセンセがぁー？」

犯人

ある日、水道の蛇口の「マワシ」がなくなりました。次の日先生が皆に聞きました。

「みなさんの水道のネジがなくなってこまっています。だれかどこにいったか知りませんか？」

「ハイ！ぼくしてまーす。」

「はい どこにあるのですか？」

「ぼくの家ヒキダシにありまーす。」

「それでは明日もってきてください。」

えっ！

お散歩にでかける3才児たちに、

「それでは皆さん気をつけて行ってらっしゃい。

車にひかれたりすると大変。あの世に行きますからね。」

お散歩から帰ってきた〇〇君に、

「面白かった？お散歩はどこまで行ってきたの？」

「あの世。」

それは

「センセ ぼく昨日種なし西瓜たべたよ。」

「ぼくなんか種なし葡萄食べたよ。」

「ぼくだって種なし枝豆食べたよ。」

「????」

運行停止

寒い朝は園バスを待っている間にも催してきて、慌てて家に戻り用を足してきます。その間に来たバスは園児が出てくるまでシッコウ停止となり待っていなくてはなりません。

「今朝も誰か執行停止でしたか？」

「いいえ今日はウンコー停止でした。」

## 咲き続ける胡蝶蘭

参与 石森 幸子

「暑中お見舞い申し上げます。開花連続〈8年〉ほぼ確実。おかげさまで、胡蝶蘭の開花連続世界最高記録は、7月4日現在、3本立っている新しい花芽によって〈8年〉がほぼ確実となり、当園の胡蝶蘭はまさに『七転び八起き』の縁起の良い花、人々に希望と喜びを与える花となりそうです。云々」という威勢のいいはがきが届きました。この方は成田で洋ランをつくっている佐々木好文さんといい、定年退職後、何か楽しいことをやってみたい、自分が楽しいだけでなく人々にも楽しんでもらいたいと考えていたところ、胡蝶蘭づくりに出会い、まだ始めて10年そこそこというのに、開花連続記録でギネスブックを毎年書き換えている方です。

「花咲爺さん構想」と称して新品種づくりにも挑戦。「ギャランボー」という新品種は既に売出し、石原裕次郎の名を取って「ユージロー」というこれまでにない大輪づくりにも成功、裕次郎の命日に捧げた後、売り出すのだそうです。

この方は私の小学校の大先輩で、両親と親交があり、毎年美しい胡蝶蘭を送り続けてくださっていたのですが、両親が逝ってからは、私のところに花の管理（特に冬）の仕方をメモし、肥料を添えて送ってくださるのです。私も、できるだけ教えられた通りを目指して管理しているせいか、花が終わると新芽が出て次々に新しい花を咲かせています。今咲いているのは2種類。一鉢は大輪の白い花を3つ。もう一鉢は小輪で一本の茎から2本の脇芽が伸び、それぞれ6個の花を咲かせています。「いただいた胡蝶蘭がこのように見事な花を咲かせています。」と電話すると、「私が育てたのはそのように咲き続けるのですよ。」と明るく潑刺とした声が返ってきました。

私もギネスブックまでとはいかないけれど、2～3年は咲かせてみたいと密かに意欲を燃やしながら、いとしい気持ちで花を眺めています。

## 同窓会だより

### 三期会

昭和26年に入学した私たちは、東北大学教育学部昭和26年度入学生の会、通称三期会と称している。発足は、昭和61年12月6日当時泉市（現在の仙台市泉区）に勤務する同期生が中心となり発会した。その後毎年総会と懇談会が持たれ14回を数えている。

会は常任幹事と当番幹事によって運営維持されている。常任幹事は教育科学、障害児教育、小学校、中学校それぞれの代表によって組織され、当番幹事は毎年総会において選出されている。

現在連絡の取れている会員は250名であるが、毎年晩秋に行われる総会には40名弱の参加がある。最近は卒業以来初めての参加という方もみられるようになった。

今年は卒業以来45年、三期会第15回の記念総会を開くべく当番幹事は張り切って企画しています。  
(三橋亮一)

### 四期会（昭和27年入学）

卒業後、時々有志で会合を開いていたが、正式に発足したのは昭和54年で、27年入学をもじって「ふなの会」と称している。昭和58年には会則も制定され、会員も120名を有し全員の消息も把握している。総会は年1回、11月頃開催している。会長 岡崎忠 副会長 阿子島富美子・高屋光雄。

総会は、仙台だけでなく支部主催でも行われ、今まで松島・古川・石巻・岩沼などでも開かれた。会には北海道や関東方面からも参加し、常時40名前後の集まりとなり盛会である。我々は、互惠互助の精神で生を全うするまで仲良く交わることを目的としており、事前の幹事（全員）による準備会も盛んである。思い出深いのは平成10年の総会で、奇しくも中国の江澤民主席の来仙の際の宿泊所となったホテル江陽で厳戒態勢のなかで開催されることである。今年は、第19回の総会となり、目下準備中である。  
(青木敏浩)

# 仙台支部役員名簿

(平成11.12～平成13.11)

顧問	藤井 黎	24三浦 修一
	25多田 滋	26佐々木一洋
	28永野 昌一	
支部長	31雪江 美久	
副支部長	31柘澤 怜	32佐々木亀三男
	33佐藤 健仁	
参与	24岩淵昌次郎	24富樫 英雄
	24志村 元一	29石森 幸子
理事	24小野 春夫	川井 善夫
	丸谷慶二郎	
	25高橋 公正	菊地 康雄
	静田 一	
	26三橋 亮一	池田 和夫
	27岡崎 忠	青木 敏浩
	28小關 幸生	古澤 良一
	29青木 寛敏	星 博
	30小野 正義	小畑 博之
	31楨 要照	今野 健
	菅原 教雄	
	32久保田 明	砂金 信男
	33長田かつよ	金岡 昭房
	34菱沼安太郎	一条 紀久
	35泉 豊	岡本 幸子
	36正木 競	阿部 琢也
	浅野 信廣	
	37菊田 泰丸	小倉 英樹
	関口 隆	
	38熊谷 洋	櫻井 正幸
	39大竹 牧夫	軍司 啓
	41安住 裕	50別府 成裕
	52白澤 利広	57川上 芳夫
幹事	25佐藤 寿郎	宮腰 英一
大学関係理事	渡部 信一	
理事事務局	35伊藤 昭	38佐藤 誠
	39大浪 榮一	
事務会計	34大庭 数江	37千葉 雅修
	39郡山 慶子	

# 事務局だより

会員の皆様には、日ごろ多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

下記の委員会を構成し、それぞれ活動を展開しております。

## 会則検討委員会

委員長 31柘澤 怜 副委員長 31今野 健  
25静田 一 28古澤 良一 34一条 紀久  
36阿部 琢郎 37菊田 泰丸

## 名簿作成委員会

委員長 29小野 正義 副委員長 30菅原 教雄  
25高橋 公正 39青木 寛敏 34金岡 昭房  
35泉 豊 38熊谷 洋

## 会報発行委員会

委員長 25菊地 康雄 副委員長 32佐々木亀三雄  
27青木 敏浩 32久保田 明 34菱沼安太郎  
39軍司 啓

## 会計委員会

委員長 29石森 幸子 副委員長 34大庭 数江  
36正木 競 37千葉 雅修 39郡山 慶子

○会報4号をお届けいたします。ご多用の中、ご執筆いただきました先生方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

○総会のご案内をいたしました。多くの会員の方々とお会いできますことを楽しみにしております。

本年度は、日時、会場、会費等が今までとは異なっておりますので、お間違いのないようくれぐれもご留意願います。

○会の運営等についてのお問い合わせは事務局へ。

事務局 仙台市立東六郷小学校 伊藤 昭

〒984-0844 仙台市若林区種次字山王前2-6

TEL 022-289-2253 FAX 022-289-4859